

第3次 旭市定住自立圏共生ビジョン 総合評価

総合評価	
S	目標を大幅に達成するなど、大きな成果が得られたとみなせる。
A	目標を達成、または、目標に達しなかったものの成果が得られたとみなせる。
B	基準値と同等だが、取組には前進しているといふとみなせる。
C	基準値よりも下回り、前進したとはいえない。
D	基準値を大幅に下回る。
-	未達なし

定住自立圏共生ビジョン 掲載事業	重要業績評価指標（KPI）									
	基準値 (H30)						計画期間 総合値	目標値	総合評価	
		R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024				
(1)生涯活躍のまち・あさひ形成事業	生涯活躍のまちへの移住者数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	－	
	－ (R1)	－	－	－	－	－	－	200人		
		－	－	－	－	－				
	移住相談件数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	A	
	91件	114件	148件	160件	176件	165件	153件	200件		
		A	A	A	A	A				
	推進委員会からの意見（要旨）									
	①みらいあさひ協議会については、現在、中心市街地の中で屋台活動など行ったりして、市でも注目してもらっていると思う。また、おひさまテラスでも人が集まるように展開している中で、まだまだ行ったことがないという人もいるので、まずは、文化活動で利用してもらいような取り組みを積極的に進めていきたい。また、移住者の方のコミュニティの面では、退職された年代の方も多くいる中で、地域おこし協力隊が行っている移住者交流会が友達をつくりする交流の場になっていると思う。 ②移住相談が、相談件数が横ばいであるが、良いのか。また、県主体の移住相談会なども参加できないことがあったとあるが、移住サポートセンターとも連携し、市が積極的に参加してほしい。									
推進委員会からの意見に対する担当課の考え										
①おひさまテラスでは、大学や専門学校、地域団体や民間事業者等と協力しながらイベントを開催するなど、様々な活動が行われています。この活動の中には自由に参加することが出来るものもあり、移住者のコミュニティづくりの場にもなりますので、より多くの方に参加してもらうため、引き続き情報発信に努めています。 ②都内で開催する移住相談会は多くの移住相談を受けることができますが、近年は移住施策に取り組み県内自治体が増えたことにより、移住相談件数が令和5年度実績とあまり変わらない件数だったことは、良い意味で横ばいだったと考えています。										
(2)地域包括ケアシステムの 充実	多職種連携相談件数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	S	
	延べ2,764件	延べ5,992件	延べ7,427件	延べ7,008件	延べ6,864件	延べ7,755件	延べ7,009件	延べ3,000件		
		S	S	S	S	S				
(3)子育て世帯への経済的 支援	乳幼児紙おむつ購入券給付件数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D	
	857件	826件	815件	763件	716件	673件	759件	880件		
		C	C	D	D	D				
	推進委員会からの意見（要旨）									
	①旭市の出生数は県や全国平均よりも高くなっているが、晩婚化や生活の経済的な負担を考へてこどもを生まないということに加えて、今は治療をしてこどもを授かる人も多くなっていると感じている。資料1-2の記載でも、令和7年度4月から不妊治療と併せた先進医療に対して助成を行っていくとあるが、健康上の問題もあるということを見点に加えてもらうよう検討してほしい。 ②乳幼児紙おむつ購入券の給付件数は、出生数の減少で少なくなっていると思うが、そこをどう評価するのか。この支援は子育て世帯にとっては良い評価をもらっていると思う。 ③子育て育成プロジェクトは、出産から子育てが大事という視点のプロジェクトだと思うので、旭市で育てたいと思ってもらうために、県内では転入が多い流山市などの成功している自治体との連携会議などを行って、その中で旭市が落とし込めるところ、必要ところをピックアップして進めてほしい。									
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え									
	①妊娠・出産の希望を叶えるためには、若い頃からの健康づくりも大切な要素の一つと考えています。市では先進医療に対する助成のほか、中学校で思春期講演会を開催し、将来の妊娠・出産に向けて健康的な身体づくりなど正しい知識について啓発普及を行っています。 ②出生数の減少に伴い、乳幼児紙おむつ購入券の交付件数自体も減少傾向にあります。本事業は利用者からも大変好評をいただいておりますので、引き続き子育て世帯への支援に努めていきます。 ③本市では、乳幼児紙おむつ購入券給付や小中学校学校給食費無償化など様々な支援を行っています。また、今年度からは安心して子育てができる環境整備の一環として、小児科不足の解消のための補助金を創設しました。今後も若い方の転入が多く、出生率が高い自治体の子育て施策の収集に努め、本市で取り入れられる施策を検討していきます。									
	(4)淹郷診療所運営事業	かかりつけ医の普及・啓発								
		基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	A
推進		推進	推進	推進	推進	推進	順調	推進		
		順調	順調	順調	順調	順調				
推進委員会からの意見（要旨）										
①小児科診療について、学校等からオンライン医療相談のお知らせがあり、実際に利用してみたのですが、回答の中で最終的に「医療機関の受診」という回答が出てきてしまい、結局は受診をしなければいけないということがあった。それであれば最初からオンライン「受診」を利用した方が効果的と感じる。今夏オンライン受診を利用してみたが、便利で費用も普段と変わらず安心した。市としてオンライン受診の周知を行っても良いのでは。										
推進委員会からの意見に対する担当課の考え										
①オンライン医療相談は、こどもの受診に迷う時や不安・疑問を医師に相談するためのサービスです。相談の結果、医師が受診が必要と判断した場合は、受診を勧めることとなります。オンライン医療も便利な反面、直接診療ではないため、診断に限界があります。また、すべての医療機関が安全基準を満たしているかどうかを利用者が見極めにくい課題もあります。そこで、市は国・県に対し、安全な基準のもとで受診ができるオンライン医療の推進を要望しています。										
(5)看護学生入学支度金 貸付事業	看護学生入学支度金貸付者数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D	
	20人	13人	14人	7人	4人	14人	10人	22人		
	D	D	D	D	D					
(6)道路交通網の整備 市道1-058号線 （旭中央病院アクセス道南北線）	計画路線の供用開始延長（旭中央病院アクセス道南北線）									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	S	
	0.9km	0.9km	3.2km （全線供用開始）				3.2km （全線供用開始）	3.2km		
		C	S							

定住自立圏共生ビジョン 掲載事業	重要業績評価指標（KPI）								
	基準値 (H30)						計画期間 総合値	目標値	総合評価
		R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024			
(7)地域子ども教室	地域子ども教室参加率								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	40.30%	14.85%	32.19%	34.42%	30.90%	40.30%	27.58%	41.0%	
		D	D	D	D	C			
(8)図書館情報サービス 提供事業	あさひ図書館利用カード登録者数（貸出冊数）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	B
	20,497人 (94,901冊)	21,790人 (68,540冊)	22,919人 (85,105冊)	23,831人 (101,214冊)	24,770人 (103,836冊)	24,770人 (103,836冊)	20,491人 (93,768冊)	21,000人 (100,000冊)	
		D	D	S	S	S			
(9)観光振興事業	宿泊者数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	C
	11万人	7.3万人	9.0万人	11.6万人	11.5万人	11.0万人	10.1万人	13万人	
		D	D	B	B	B			
(10)こだわり旭ブランド 創出支援事業	こだわり旭ブランド創出支援事業での商品化数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	B
	1	1	1	1	2	1	1	2	
		C	C	C	S	C			
(11)特産品開発事業	旭市推奨品認定数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	B
	27品	45品	56品	57品	56品	58品	58品	90品	
		A	A	A	A	A			
(12)空き店舗利用などによる 中心市街地活性化	商工会会員数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	C
	1,531人	1,500人	1,517人	1,497人	1,480人	1,469人	1,469人	1,550人	
		C	C	C	C	C			
(13)企業誘致及び既存 企業の支援	企業誘致及び雇用の促進に関する条例に基づく企業の投下固定資産額								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	S
	6億9,026万円	8億4,334万円	23億1,315万円	8億6,101万円	19億2,710万円	20億6,762万円	16億0,244万円	8億7,124万円	
		A	S	A	S	S			
(14)道路交通網の整備 市道1-061号線 （南堀之内バイパス）	計画路線の供用開始延長（南堀之内バイパス）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	B
	0.49km	0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	1.1km	
		B	B	B	B	B			
(15)道路交通網の整備 市道1-060号線 （飯岡海上連絡道）	計画路線の供用開始延長（飯岡海上連絡道）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	A
	0.58km	1.3km	1.3km	1.6km	1.6km	1.6km	1.6km	2.3km	
		A	A	A	A	A			
(16)地域公共交通の確保 に係る取り組み	コミュニティバス平日1便当たりの利用者数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	8.2人	4.5人	4.8人	5.1人	5.1人	5.1人	4.9人	10人	
		D	D	D	D	D			
	推進委員会からの意見（要旨）								
	①先日、移住した方が、旭市は車がないと生活できないよね、コミュニティバスも乗ったら最後帰って来れないと話をしていた。その中で、皆さん横芝光町の成田行きバスは使っているそうで、いいよなと言っていた。その時に旭市のコミュニティバスは本数が少ないので無料にしても乗らないという話もあって、せっかく今年20周年事業として行ったとは思いますが残念だったと思いました。								
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え								
①地方においては、車は生活に欠かせないものではありませんが、本市では、持続可能な公共交通を目指し、市民の移動手段を確保するためコミュニティバスやデマンド交通等の利便性向上に引き続き取り組んでいきます。また、旭市20周年記念事業として令和7年8月に行ったコミュニティバス運賃無料の利用者は6,556人で、対前年同月比較で+2,051人（45.53%増）であり、利用促進に繋がったものと考えています。									
(17)農業活性化推進事業	農業産出額								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	582億円（R29年度）	490億円	489億円	448億円	501億円	559億円	497億円	590億円	
		D	D	D	D	C			
	推進委員会からの意見（要旨）								
	①農業産出額は、目標値590億円に対し実績の平均値は497億円となり評価は低いが、年々回復傾向にあり、令和6年度の実績値は559億円と目標値に近づいているので、市民が見たときにD評価でも、分かりやすく市民に発信してもらいたい。								
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え								
①農業産出額は、令和4年度以降は目標値に近い数値まで上昇しており、平均値での評価ではD評価としましたが、本市として全国トップクラスを維持していることは、知名度アップにつながる大きな魅力でありますので、今後も市内外へのPRに努めていきます。									

定住自立圏共生ビジョン 掲載事業	重要業績評価指標（KPI）								
	基準値 (R30)						計画期間 総合値	目標値	総合評価
		R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024			
(18)道の駅季楽里あさひ 管理	道の駅「季楽里あさひ」年間売上額								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	S
	7億5,200万円	8億1,284万円	8億3,544万円	9億2,986万円	9億7,724万円	10億5,347万円	9億2,177万円	8億円	
		S	S	S	S	S			
	推進委員会からの意見（要旨）								
	①農業産出額がD評価ですが、全国ランキングで5位、常にトップクラスで居続けて、かつ県内では継続して1位はとても素晴らしいことだと思う。また、道の駅の売り上げが上昇している。キャッシュレス決済が導入され、私も買い物をする。駐車場が満車気味な時もあり、ナンバーを見ると遠方から来る方も多いと感じている。これまで店内レイアウトも変更しながら苦労していると思う。 ②道の駅「季楽里あさひ」の年間売り上げは順調だと思う。市の顔の一つになっているが、現在レストランが閉店し困っている人がいて残念だという意見を聞いた。								
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え								
	①旭市の特産物をアピールするとともに、引き続き利用者の利便性向上に努めていきます。 ②レストランのテナント化を進めるため一時的に休業していますが、9月に公募による新たな運営事業者の選定を行い、来年3月の開業に向けて準備を進めています。								
(19)医療福祉・食・交流の 郷づくり	幽学の里で米作り交流事業参加者数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	1,358人	-	-	400人	685人	904人	663人	1,400人	
	-	-	D	D	D				
(20)大原幽学遺跡史跡 公園管理	大原幽学記念館の入館者数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	4,774人	5,307人	3,556人	3,581人	4,005人	3,883人	4,066人	6,200人	
	A	D	D	D	D				
(21)イメージアップキャラ クター等活用事業	交流人口（しおさいマラソン大会、向太陽杯、幽学の里で米づくり交流）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	7,226人	-	-	2,347人	3,020人	3,696人	3,021人	7,400人	
	-	-	D	D	D				
(22)観光情報発信事業	観光客入込客数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	212万人	164万人	165万人	189万人	219万人	214万人	190万人	215万人	
		D	D	D	S	B			
	推進委員会からの意見（要旨）								
	①観光大使について、椎名佐千子さんと桂竹千代さんに情報発信を依頼すると記載があるが、どういう方法か。 ②観光大使を選ぶ基準を教えてください。芸術、文化、スポーツ選手なのか、有名な方はたくさんいると思う。PRをお願いするのなら、旬な人に任期をもってお願いするほうが良いと思う。 ③観光について、セタまつりなど外部の協力が多くなっていて、今後も継続していけるか心配である。								
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え								
	①現在、ステージイベント出演時やInstagramなどを活用して市の観光情報をPRしていただいています。さらに観光情報を広く発信してもらうため、TVやラジオ出演時のほかYouTubeなどのSNSを活用したPRに取り組んでいます。 ②本市の出身者であって、芸術等の分野において活躍している方や、市の発展に寄与されている方に観光大使を委嘱しています。現在は、任期を設定していないことなどから、慎重に選定をする必要があると考えています。今後、市民からの意見等を参考に、より良い選定方法を検討していきます。 ③イベントを今後も継続していくため、開催方法や規模などについて、関係者や市民の意見を聞きながら必要な支援を行っています。								
(23)育児支援事業	子育てが楽しいと感じている保護者の割合								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	S
	90.4%	93.8%	91.2%	94.9%	92.2%	92.6%	92.9%	92.0%	
	S	B	S	S	S				
(24)移住・定住促進事業	転入世帯数（定住促進奨励金交付事業）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	A
	42世帯	47世帯	58世帯	71世帯	48世帯	45世帯	54世帯	50世帯	
		A	S	S	A	B			
	推進委員会からの意見（要旨）								
	①転入世帯数の関係で、現在、住宅ローンが伸びている。一軒家の値段が上がっていて、そうなる夫婦共働きでも、なかなかハードルが高く新築が建ちにくいと思う。また、不動産業者から聞いたが、場所にもよるが、分譲の申請をすると水圧の関係があって1件なら良いが4件はダメですと言われるとのこと。分譲が増えたと人が増えるかという点、移動もあるので一概には言えないが、住むところが増えないと、人も増えていかないという感覚もある。水道管は老朽化の問題もあり、簡単ではないと思うが、状況でもう少し分譲の許可の仕方を柔軟にしてほしいという声はある。								
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え								
	①分譲地等の宅地開発時は、事前審査の中で水量計算を行い、件数分の水量に足りない場合は、事業者負担による既設配水管の増径を依頼しており、この事前審査の基準は令和5年より、実際の利用水量を勘案したものへ緩和しています。なお、個人で新たに配水管を布設する場合は、材料費相当額を補助する制度を案内しています。								
(25)産業まつり事業	産業まつり来場者数								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	45,000人	-	-	-	15,000人	21,000人	18,000人	45,500人	
	-	-	-	D	D				
(26)スポーツによる市民の絆 づくり支援事業（市民体育祭 等の開催）	スポーツ大会の年間参加者数（市民体育祭、市民駅伝大会、市民スポーツ大会の参加人数）								
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
	9,636人	-	-	2,030人	3,711人	4,071人	3,271人	12,500人	
	-	-	D	D	D				

定住自立圏共生ビジョン 掲載事業	重要業績評価指標（K P I）									
	基準値 (H30)					計画期間 総合値	目標値	総合評価		
		R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023				R6・2024	
(27)地域子育て支援拠点 事業	子育て世代の保育サービス（一時預かり保育、子育て支援センター）の利用者数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D	
	28,763人	19,521人	19,036人	20,884人	20,229人	22,164人	20,367人	30,766人		
		D	D	D	D	D				
(28)旭市新庁舎建設事業	旭市新庁舎建設事業									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	S	
	-	建設・完成					建設・完成	完成		
	S	S	S	S	S	S				
(29)異業種交流の推進	地域振興交流会への参加者数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D	
	144人	-	-	-	52人	16人	34人	300人		
		-	-	-	D	D				
(30)生きがいづくり支援 事業	老人クラブ会員数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	最終値	目標値	D	
	1,744人	1,683人	1,597人	1,490人	1,389人	1,261人	1,261人	1,900人		
		C	C	D	D	D				
	推進委員会からの意見（要旨）									
	①旭市の医療と福祉は素晴らしく、旭中央病院を起点として充実している。その中で、介護になる前の元気なお年寄りが活躍できる場所へデマンド交通を利用して、他の人と交流したいときに、利用できる場所がなかなか無い。また老人クラブ会員数も減少傾向にある中で、孤立する高齢者が増えている。人口減少とともに、核家族化が進み、独居や高齢者世帯、そういう方たちをどうするのが大切である。次のステップとして、1つに老人クラブの位置づけが大事だと考えるが、そこへの検討が見えないがどうか。 ②老人クラブという言葉は使わないようにしていて、シニアクラブと呼んでいるが、どこの自治体でも減少していて、特に役員をやってくれる方がいないという状況で、旭市も同様ではないかと思う。どのように老人クラブを復活させていくのか難しいと感じている。私もクラブに加入しているが、とても楽しい。楽しいことを説明するが、元気な高齢者はなかなか加入されない。民生委員の方も大変だと思うが、それでも高齢者が孤立しないように、話相手に時々なってあげられるような取り組みを市で考えてあげてほしい。									
	推進委員会からの意見に対する担当課の考え									
	①老人クラブの加入促進については、実際の体験を通じ加入に結び付けるため、連合会主催の行事には加入予定者でも参加を可能にするなど参加要件を緩和する取り組みを行っており、若手会員の加入促進を図るため、参加したくなるイベントの開催や勧誘活動を引き続き実施していきます。また、介護サービスを使っていない独居高齢者については、地域包括支援センターに訪問調査を依頼しており、孤立している高齢者について相談があれば、生活支援コーディネーターとの連携により、通いの場などの介護予防活動へ繋げる活動を行うとともに、地域住民へ新規立ち上げ、活動継続の支援等も行っています。 ②民生委員には高齢者世帯を含め地域の見守り等を行っていただいています。訪問活動の中で、社会福祉協議会が実施する「おたっしや会」や講座など外出を促す活動の周知等もお願いしています。引き続き、高齢者が孤立することがないよう、見守り活動を行っていきます。									
	(31)まちづくり活動の支援	市民まちづくり補助金交付団体								
		基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D
		5団体	1団体	3団体	3団体	2団体	3団体	2団体	増加	
			D	D	D	D	D			
(32)青少年野外学習の推進 (海上キャンプ場の活用)	海上キャンプ場利用者数									
	基準値	R2・2020	R3・2021	R4・2022	R5・2023	R6・2024	平均値	目標値	D	
	3,943人	1,929人	1,622人	3,081人	3,117人	2,806人	2,511人	4,100人		
		D	D	D	D	D				